

## ◎特集

# 「ふるさとと遠野」

遠野の魅力は何ですか—  
と聞かれたら、あなたなら何と答えますか。  
古くからの文化が息づき、  
緑豊かで広大な自然に囲まれた  
わたしたちのふるさと「遠野」。  
八二五・六二平方キロの大地には、  
ふるさとの魅力が満載。  
今月は、ふるさとの良さを見つめ直し、  
遠野ならではの魅力を再発見します。



馬と暮らす昔ながらの生活を再現する、遠野ふるさと村の曲り家「大工どん」

## 歴史・文化が 息づくまち

先人によって培われてきた  
歴史と文化が薫るまち、遠野。  
長い間はぐくまれてきた風土や伝統を  
「地域の宝物」として見詰め直し、  
後世へと伝える取り組みが広がっています。



柳田國男から佐々木喜善に贈られた  
遠野物語初版本第1号



遠野七観音の中で最も古い歴史を持つといわれる鞍迫観音堂

### 柳

田國男の『遠野物語』  
に代表されるように、  
親から子へ語り継が  
れてきた昔話や伝説が残るま  
ち遠野。また、それら数々の  
物語をほうふつさせる史跡や  
名所が数多く残されています。  
市は昨年七月、地域の「宝  
物」を見詰め直そうと「遠野遺  
産認定制度」を創設。各地域  
からの推薦を受け、これまで  
市内五十三の「遺産」が認定さ  
れました。この認定を契機に、  
地域の誇るべき遺産を守り育  
てようという機運が各地域で  
高まっています。  
平安時代前期に慈覚大師が

一本の木から七つの観音像を  
刻み、遠野七寺院の本尊とし  
て安置したと伝わる「遠野七  
観音」。一昼夜で七観音を巡  
ると願いがかなうといわれ、  
全国各地から参拝者が訪れて  
います。

番札所・山谷観音(小  
友町)、二番札所・松  
崎観音(松崎町)、三  
番札所・平倉観音(上郷町)、  
四番札所・鞍迫観音(宮守町)、  
五番札所・宮守観音(宮守町)、  
六番札所・山崎観音(土淵町)、  
七番札所・笹谷観音(附馬牛  
町)のすべてが第一回の遠野  
遺産に認定されました。

### 七

観音の中で最も古い  
歴史を持つといわれ、  
県文化財にも指定さ  
れている宮守町上鱒沢の鞍迫  
観音。古くから、この地域に  
住む人たちの心のよりどころ  
として親しまれてきました。

多くの参拝者が訪れるこの  
場所は、木製の橋が老朽化し、  
人が通るには危険な状態が続  
いていました。そこで、昨年  
十一月、地域住民が協力して  
橋の架け替えや参道の整備な  
どを一カ月掛けて実施。参道  
の砂利敷き作業には、地区住  
民およそ五十人が早朝から集  
まりました。同地区の区長・

菅原理平さん(＝当時は「予  
想以上に多くの人が集まって  
くれました。みんなが地域の  
遺産を守ろうと思ってくれた  
んだね」と作業を振り返りま  
す。

鞍迫観音のほかにも、青笹  
町の「辨財天様」ではお堂の修  
復を、松崎町の「松崎観音」で  
は石段の修復を地域住民自ら  
が行いました。

先人たちが大切に守り育て  
てきた遺産の数々。これら地  
域の宝を、後世へ守り伝えて  
いこうという取り組みは今、  
市内全域に広がりを見せてい  
ます。



宮守町鱒沢第1区  
前区長  
菅原理平さん  
(宮守町・77歳)

写真下 / 地域住民およそ50人が集  
まって、参道の整備を行った



遠野には、都会にはない、  
豊かな自然が多く残ってい  
ます。自然と共生した暮ら  
しや、結いの精神が残って  
いることも素晴らしいこと  
です。これからも地域の文  
化を守り育てながら、ふる  
さとの素晴らしさを残して  
いきたいと思えます。